

4 委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 山梨県立大学

1 事業の趣旨・目的

- ・山梨県内に在住する外国人(成人)を対象とした日本語学習支援のための講座(中級・上級)を開催する。
- ・山梨県内に在住する外国人(成人)を対象とした日本語の習得を目的とした日本の文化や伝統などを身につけるための講座を開催する。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
8月27日	山梨県立大学 中会議室	芦澤薫 大澤英二 奥田理 鈴木郁子 波木井昇 安藤淑子	・日本語・日本文化 講座の概要説明	・講座の紹介方法の検討 ・講座の実施内容の検討
2月21日	山梨県立大学 中会議室	芦澤薫 大澤英二 奥田理 鈴木郁子 波木井昇 安藤淑子	・日本語・日本文化 講座の報告	・今年度の講座の実績報告 ・次年度の講座内容の検討

【写真】



3 日本語教室の開催について

- ① 日本語教室の名称 山梨県立大学日本語・日本文化講座
- ② 開催場所 山梨県立大学サテライト教室
- ③ 学習目標 県内在住外国人の中で日常生活における「聞く」「話す」能力はあるが、「読む」「書く」能力が十分ではない学習者に対し、書き言葉(漢字学習を含む)を中心に日本語教育を行う。併せて日本の社会習慣、文化について学ぶ。
- ④ 使用した教材・リソース 『みんなの日本語初級 やさしい作文』(スリーエーネットワーク 1200 円)、『例文で学ぶ漢字と言葉 3級編』(スリーエーネットワーク 1300 円)、その他生教材、教師作成教材など
- ⑤ 受講者の募集方法
 - ・募集ちらしの作成・配布(甲府市役所ほか)
 - ・大学HPによる募集・案内
- ⑥ 受講者の総数 22 人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 タイ：1人、ペルー：8人、チリ：1人、中国：5人、台湾：1人、ボリビア2人、ベトナム3人、ブラジル1人)
- ⑦ 開催時間数(回数) 46 時間 (全23回)

⑧日本語教室の具体的内容

回	開催日	時間数	人数	会場	内容
①	6月13日	2時間	15人	山梨県立大学 サテライト教室	「教育」に関する語彙／漢字の練習
②	6月20日	2時間	9人	同上	講演者への質問表作成
③	6月27日	2時間	14人	同上	日本の「お中元」についての読み物・漢字の練習
④	7月4日	2時間	9人	同上	日本語で手紙を書く・漢字の練習
⑤	7月11日	2時間	8人	同上	葉書の書き方・暑中見舞いを書く・漢字の練習
⑥	7月18日	2時間	12人	同上	外部講師による日本の学校制度に関する講演
⑦	7月25日	2時間	11人	同上	作文練習1「わたし」・漢字の練習
⑧	8月1日	2時間	11人	外部	前期のまとめ・意見交換会・交流会
⑨	9月5日	2時間	11人	山梨県立大学 サテライト教室	作文練習1、発表・漢字の練習
⑩	9月12日	2時間	7人	同上	作文練習2「私の部屋」・漢字の練習
⑪	9月19日	2時間	8人	同上	作文練習2つづき・漢字の練習
⑫	9月26日	2時間	10人	同上	作文練習2誤用訂正・漢字の練習
⑬	10月17日	2時間	13人	同上	PC講座①「ワードで日本語の文章を作成する」
⑭	10月24日	2時間	9人	同上	作文練習3「私の家族」・漢字の練習
⑮	10月31日	2時間	8人	同上	PC講座②レイアウト、漢字変換・振り仮名をつける
⑯	11月14日	2時間	5人	同上	作文3つづき・漢字の練習
⑰	11月28日	2時間	8人	同上	作文4「私の国」・漢字の練習
⑱	12月5日	2時間	7人	同上	作文4つづき・漢字の練習
⑲	12月12日	2時間	7人	外部	日本文化（もちつき見学）
⑳	12月19日	2時間	9人	山梨県立大学 サテライト教室	ノロウィルス・インフルエンザに関する注意文書
21	1月23日	2時間	6人	同上	作文4つづき・漢字の練習
22	1月30日	2時間	7人	同上	作文4発表・漢字の練習
23	2月6日	2時間	4人	外部	意見交換会・交流会

⑨ 特徴的な授業風景(2~3回分)

・6月13日(日)

テーマ:日本の教育について

- (1)山梨県の就学案内を全員に配布
- (2)難しい語彙を語彙表に転記する
- (3)漢字の読み方と意味の説明
- (4)教育について知りたいことを話し合う
- (5)漢字の練習シート

・6月20日(日)

(1)先週話し合った内容をもとに、教育について知りたいことをプリントにまとめる

(教育に関する講演の質問を準備)

- (2)漢字の練習シート

・6月27日(日)

テーマ:日本のお中元について

- (1)お中元のカタログを見て、自分のほしいものを捜す
- (2)日本のお中元の習慣についての読み物
- (3)わからない語彙を語彙表に転記
- (4)漢字の読み方と意味の説明
- (5)漢字の練習シート

・7月4日(日)

テーマ:手紙を書く

- (1)日本の手紙の書き方について解説
- (2)季節のあいさつ、近況紹介などを書いてみる
- (3)暑中見舞いを書く(各自、葉書に書いて実際に投函する)
- (4)漢字の練習シート



⑩ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

氏名	母語(国籍)	来日年(日)数	参加回数	当該教室での役割
西田ジャケリネ	スペイン語	19年	19回	翻訳
手塚ピアポーン	タイ語	12年	14回	翻訳

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
原田 かおり	山梨県立大学非常勤講師	日本語教員養成課程修了	9回	講師
小林 信子	ユニタス日本語学校非常勤講師	日本語教員養成課程修了	22回	講師
安藤 淑子	山梨県立大学准教授	日本語教育学	13回	講師

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

事前及びコース途中で学習者から学習希望の聴取を行っているため、ほぼそれに対応した授業ができた。最終結果は、別添のアンケート調査結果を参照

② 学習者の習得状況

ほとんど漢字を書くことができなかった非漢字圏の学習者が、積極的に漢字シートに取り組み、作文を書く際には、文中で必要な漢字をほとんど書くことができるようになった。

また、作文の授業では、文章を書くにあたって日頃間違えがちな助詞や、文法事項の整理を並行しておこない、それを基に、すべての学習者が自分自身のことを書き、それを他の学習者の前で発表することができた。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

これまで地域のボランティア教室で受入があまりなされていない上級学習者が多く参加した。また、事前・中途のミーティングで学習者の希望を聞いたため、それに対応した授業ができた。

特に、日本に長期に在住しながら日本文化や習慣に接する機会の少ない人々に対し、日本の文化習慣を読み物で学ぶとともに、手紙の書き方など日常生活に必要な書く技能を身につけてもらうことができた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

地域の日本語教室、ボランティア教室で教えている人々や大学ボランティアなどが、補助者として協力した。また、外国人に対する地域自治体の生活情報や、イベント情報を講座内で

配布するなど、在住外国人が地域情報に接する場として積極的に活用した。

⑤ 改善点, 今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

非漢字圏の学習者は特に漢字の読み書きに課題がある。また、上級者は日常会話にほとんど問題がないが、文章を書く際に、助詞や活用形などの誤りが頻繁に見られる。漢字が書けないことと同時に、こうした誤りに対する恐れから、自分から日本語を書くという習慣があまりないとのことである。

b. 今後の課題

日本語を学習した結果、「わたしは～ができる」というような、目にみえる具体的な目標設定が必要かもしれない。また、漢字学習に関して、漢字圏の学習者に対する対応を別途考える必要があるだろう。

c. 今後の活動予定, 展望

来年度も引き続き、初級を含めた日本語クラスの開講を予定している。来年度は、甲府市との連携講座として実施するため、広報活動を含めより充実したものになりたい。

③その他参考資料

アンケート調査結果を別紙に記載